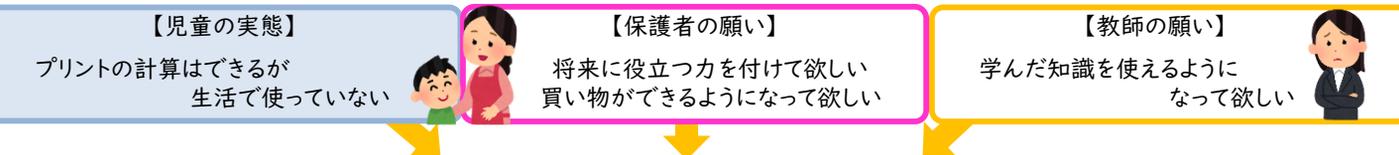


算数科における、学んだ知識を日常生活に結び付けて考え生かそうとする児童の育成 —日常生活場面を取り入れた授業づくりと『使える!報告書』の活用を通して—

特別研修員 特別支援教育 新井 恵 (小学校教諭)

望ましい社会参加を目指し、日常生活や社会生活に生きて働く知識及び技能、習慣や学びに向かう力が身に付くよう指導する (特別支援学校学習指導要領「知的障害のある児童生徒の教育的対応の基本」)



手立て1 日常生活場面を取り入れた授業づくり

- 単元構成の工夫**
習熟や活用にあたる時間を、日常生活場面に結び付けて考える時間に置き換える。
- 日常生活場面の設定・教材教具の工夫**
学習で実際に使う日常生活場面を示し、教材教具も日常生活に近付けて学習する。
- ワークシートの工夫**
位の着色や罫線がある物から、徐々に白紙へ近付け、生活で使用できる力を付ける。

<置き換え例>

であう	知識技能	習熟	知識技能	知識技能	知識技能	活用	知識技能	習熟	つかう
-----	------	-----------	------	------	------	-----------	------	-----------	------------

日常生活場面 (習熟) 日常生活場面 (活用) 日常生活場面 (習熟) 日常生活場面 (つかう)

【日常生活場面の設定】

 100円で二つのお菓子を
買おう！

【教材教具の工夫】

 日常生活に準じた教具

家庭でのつながり

 玉入れをするとどちらが
勝ちでしょう。

校内運動会との

 つながり

ワークシートの変遷:
 → → → 白紙メモへ
 持ち運びしやすい

手立て2 児童の振り返り活動「使える!報告書」の活用

- 報告活動による意欲の向上・学習の意識付け**
振り返り活動として複数の学校職員に報告することで、繰り返し日常場面を想起し、意識付けを図る。
- 学習内容の共有及び連携**
 - 学校職員との連携
→ 学習進捗の把握、児童とのコミュニケーション
 - 家庭との連携
→ 報告の足がかり、学習した内容の具体的把握
家庭の協力の報告・把握

前時までのまとめを記入。振り返りやすくする。

扱った日常生活場面を記入し、選びやすくする。

「こんな時に使ってみたい!」と思う日常生活場面を選び記入し、学校職員や保護者に報告する。

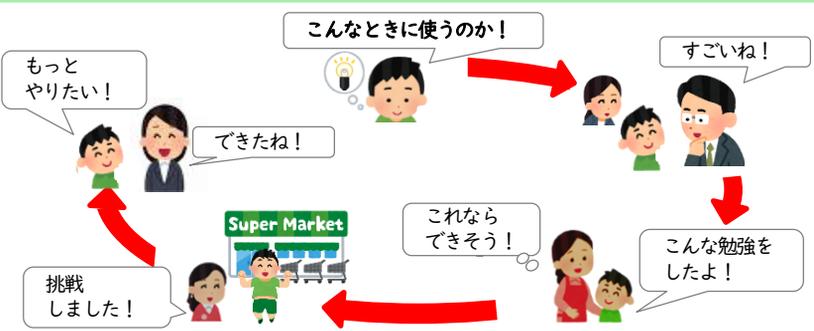
お家の人より: 報告の様子や家庭での実践などのやりとりを活用する。

使える! ほうこく書

今日 / () の学習

使ってみたい!

お家の人より



目指す児童像
学んだ知識を生活の中に生かすことができる児童

成果

- 置き換えの工夫で、日常生活と算数のつながりを意識できる学習活動ができた。
- 実生活と結び付けながら学習に取り組むことで、児童が自分から保護者に学習内容を報告したり、やってみたいと話したりする姿が増えた。
- 報告書の使用により、家庭との連携や協力が期待以上に得られるようになった。児童の実践意欲も向上した。

課題

- 報告書で他者に報告する際、活動を渡ることがあった。サインやシールをもらうなど、児童に合わせた意欲付けや見通しをもてる工夫が必要である。